

2011年

北九州學術研究都市 10周年記念誌



北九州學術研究都市



北九州学術研究都市10周年を迎えて

北九州市長 北橋 健治

平成13年4月に開設した、北九州学術研究都市は、今年開設10周年を迎えました。これもひとえに、進出大学・研究機関、企業の皆様をはじめとした、関係の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

北九州市は、ものづくりの街として、日本の近代化を支えてきた長い歴史と技術の蓄積があります。このような特徴を活かしつつ、将来にわたって、産業の振興を進めていくためには、知的基盤の充実が不可欠であるとの認識から、北九州学術研究都市の設立構想が策定されました。

そして、「アジアの中核的な学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという画期的な試みとして、ここ「ひびきの」に新しい街が誕生しました。

開設時は学生が約300人、うち留学生が約30人、進出企業は5社という状況で始まりましたが、現在は学生が約2,300人、うち留学生が約520人、進出企業は50社を超えるなど、大きく飛躍を遂げております。

さらに、大学の研究成果を活かした産学連携活動も活発に行われており、外部資金等を活用した多数の研究開発プロジェクトに取り組み、北九州学術研究都市発の製品や、ベンチャー企業を創出しています。

その結果、昼間人口は3,000人を超えており、周辺地域の住宅開発等もあわせて、今後ますますの発展が期待されております。

さて、本年3月に「東日本大震災」が起こり、我が国は、製造業におけるサプライチェーンのあり方やエネルギー政策の見直しなど、多くの課題に直面することとなりました。

このような中、「環境」というキーワードがこれまでも増してクローズアップされており、「環境モデル都市」としての本市の果たすべき役割もますます大きくなると思われまます。

本市では、市の環境分野における取組みを技術開発面からサポートし、「低炭素化技術の研究拠点の形成」と「低炭素化を軸にした地域産業の振興」を図るため、「先導的低炭素化技術研究戦略指針」を策定しました。

今後、この指針で定めた技術分野における研究開発を重点的に進めるうえで、この北九州学術研究都市が果たす役割は非常に大きいと考えております。

開設から10年という節目を迎えた北九州学術研究都市ですが、今後も関係者の皆様のお力添えを賜りながら、50年、100年先の北九州市を支える知的基盤となるよう育んでいく所存です。

益々のご支援とご協力をお願いいたします。



「豊かな低炭素社会の実現に向け、チャレンジ！」 ～北九州学術研究都市のさらなる飛躍を目指す～

財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜

地域振興の頭脳となるべき知的基盤を整備し、新産業の創出や地域産業の高度化そして人材育成を図る狙いで、平成13年(2001年)に北九州学術研究都市(学研都市)が誕生しました。財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)も、地域の大学・研究機関と産業界の連携の支援機関として同時に創設され、学研都市共々、10周年を迎えることができました。これまでご支援いただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。

現在、学研都市には、北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科、九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科の1学部4大学院、16の研究機関や50社を超える企業等が集積しています。開設時には約300人だった学生数は、現在約2,300人となり、そのうち留学生は520人を超え、まさにアジアを中心とした各国からの頭脳が集まるキャンパスとなっています。また、大学教員・企業の研究者等を含めると、約3,000名の人々が、教育・研究活動等を行っています。

FAISは、この学研都市のキャンパスの一体的運営や学研都市進出大学等の研究シーズと地域企業などのニーズをつなぐコーディネート活動をはじめ、産学連携による研究開発への助成、研究成果の事業化支援などに取り組んでおり、学研都市における国等からの研究開発資金の獲得額は、平成22年度約22億円にのぼっています。学研都市開設時の平成13年度と比べ約5倍となるこれらの資金は、文部科学省や経済産業省所管の事業をはじめ、数多くの研究開発プロジェクトや人材育成プロジェクトを実施してきた成果です。また、「アジアの中核的な学術研究拠点」を目指し、アジアを中心とした海外大学・研究機関やサイエンスパークと交流協定を締結し、大学等との共同研究活動に対する支援も行っています。その結果、現在、学研都市内には中国(清華大学、上海交通大学、北京大学)、イギリス(クランフィールド大学)の大学が研究室を設置し、学研都市内の大学との共同研究を実施するなど国際連携も進んでいます。

このような中、FAISは北九州市が地域をあげて取り組んでいる省エネ・資源関連の様々な取り組みを技術開発面からサポートしていくため、「先導的低炭素化技術研究戦略指針」(平成23年1月)を策定しました。また、「FAIS中期計画(平成23年度～25年度)」を実施するなかで、「豊かな低炭素社会の実現に向け、チャレンジ！」することとしています。

目まぐるしく変動する世界の経済状況や、低炭素社会の構築、過日の東日本大震災を契機としたエネルギー問題等に対応していくため、知を活用した産業・学術の振興が一層重要になっていきます。北九州学術研究都市は、豊かな低炭素社会の実現に向けチャレンジし、今後とも不断の努力を続けて参りますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州学術研究都市10周年記念誌の発刊にあたり、ご支援、ご協力賜りました皆様にお礼申し上げ、ご挨拶いたします。



北九州市立大学 学長
近藤 倫明

このたび北九州学術研究都市が開設10周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。平成13年4月、21世紀におけるアジアの学術研究拠点、産学官連携の知の拠点として建設されたこの学研都市内に、本学国際環境工学部も同時に開設し、10周年を迎えることができました。

本学は、昭和21年に小倉外事専門学校として創設以来、文系の大学として北方キャンパスで伝統を育てまいりましたが、21世紀の最初の年に学研都市のあるひびきのキャンパスに、北九州市のご支援のもと、この学研都市を形成する中核的一員として国際環境工学部を開設いたしました。開設以来10年を経て、本学部は多くの研究成果をあげ、優秀な人材を育成しています。これは学研都市内の皆様をはじめとする多くの関係者の方々のご支援があつてのことと、深く感謝しております。

国際環境工学部は、環境をキーワードに持続可能な循環型社会を目指した新しい「ものづくり」をテーマに教育研究を進め、今後とも多くの独自の研究成果を創出し人材育成に努める所存です。北九州市が環境の分野で新しいものづくりのまちとして世界をリードするアジアの中核都市として発展するよう、大学も今後とも学研都市の一員として協力して参りたいとおもいます。

最後に、北九州学術研究都市のさらなるご発展と皆様のご健勝を祈念し、祝辞といたします。



九州工業大学 学長
松永 守央

アジアの中核的な学術研究拠点の形成と新たな産業の創出・技術の高度化を目指した北九州学術研究都市が開設10周年を迎えられました。開設以来の産学官連携活動、地域の企業における技術開発、大学の研究活動の拠点などの広範囲な活動が着実に成果を挙げられ、我が国でも注目される拠点に成長しつつあることをお祝い申し上げますとともに、北九州産業学術推進機構などの関係各位のご尽力に感謝いたします。

技術力、研究開発力と人材育成が、資源の乏しい我が国の生命線です。アジア諸国の劇的な発展を考えますと、これまで以上にグローバル化の意識が必要です。アジア諸国の要望に応じた研究開発を産官学が一体となって進め、北九州のものづくりの強みを活かした製品やパッケージ化した技術を開発することが望まれます。九州工業大学は、世界標準を意識した研究とグローバル時代に相応しい人材の育成を目指していますが、北九州学術研究都市における連携活動が重要と考えています。産学官連携の国際化も、知財サイクルや安全保障貿易を意識しつつ、さらに加速する所存です。

北九州学術研究都市に産学官の研究開発機関がさらに集積し、アジアへのゲートウェイとなる学術研究拠点として、北九州地域の経済の発展に寄与されることを期待しています。



早稲田大学 総長
鎌田 薫

北九州学術研究都市が開設10周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

北九州学術研究都市には、アジアの中核的学術研究拠点の形成という理念を共有する大学・研究機関・企業が集積していますが、早稲田大学もその一員として、平成13年に理工学総合研究センター九州研究所（現在は情報生産システム研究センター）、平成15年に大学院情報生産システム研究科を設立しました。

大学院情報生産システム研究科は、アジアを中心に海外トップクラスの大学との提携・交流に積極的に取り組んでおり、中国の清華大学、北京大学、上海交通大学の北九州研究室が設置されるなど、国際性豊かな研究環境を実現しています。現在では、世界各地から集まった400人の留学生がこの環境のもとで学んでおり、まさに早稲田大学の国際化を牽引する最前線となっています。

学術研究都市の環境整備に対する北九州市はじめ関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げるとともに、北九州学術研究都市がアジアへ開かれた知の拠点として、北九州からアジアへ、そして世界へと有為の人材が数多く巣立っていくことを祈念し、祝辞に代えさせていただきます。



福岡大学 学長
衛藤 卓也

北九州学術研究都市の開設10周年を心よりお祝い申し上げます。

福岡大学は、北九州エコタウン開設時の平成9年度に、文部科学省の学術フロンティア推進事業として「資源循環・環境制御システム研究所（資環研）」を立ち上げ、北九州市の環境行政を理解しながら多くのプロジェクトについて共同研究を行ってきました。

資環研はエコタウンの実証研究施設としての役割を果たしてきましたが、北九州学術研究都市の開設にあたっては、当地区を国際的な環境情報拠点と考え、①サテライトオフィスとなる北九州産学連携推進室および②大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻のうち資源循環工学専修および地域環境専修を設置し、環境に関連する教育研究情報取得の最前線と位置づけました。特に廃棄物処理に関わる実証施設（資環研）、福岡市城南区七隈の本学キャンパスとの三キャンパス間の相互連携を図りながら環境教育研究の高度化に活用して参りました。この方針は、今後とも大きく変わることはなく、その意味で学術研究都市の質的高度化と本学との連携強化に期待するところは非常に大きなものがあります。

これまで多大のご支援を賜りましたことに対して、北九州市長をはじめとする関係者の皆様に心より御礼申し上げますとともに、今後のご発展をお祈りし、お祝いの挨拶とさせていただきます。



福岡県知事
小川 洋

北九州学術研究都市の開設10周年を心からお喜び申し上げます。

北九州学術研究都市は、平成13年4月に開設されて以来、「アジアの中核的な学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、産学連携を先導し、先端的な科学技術分野での人材育成などに取り組まれています。財団法人北九州産業学術推進機構はじめ北九州市、進出大学・研究機関ならびに企業の皆さまのご尽力に対し、心から敬意を表します。

福岡県では、水素エネルギー・燃料電池分野や半導体産業などの技術集積、関連企業の育成・集積を促進し、福岡県が日本を元気にする大きな推進力となるよう、さまざまな施策を強力に推進していきます。「元気を西から」を合言葉にわが国の経済をしっかりと支えるためにも、皆さまと一体となって経済の発展にまい進してまいります。

北九州学術研究都市では、引き続き大学の研究成果を活用した産業・学術の振興に取り組み、新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市の実現に貢献されることを期待します。

北九州学術研究都市のますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご活躍をお祈りいたします。



九州経済産業局長
滝本 徹

このたび、北九州学術研究都市が開設10周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

10年前に開設された貴学術研究都市は、自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅の供給による複合的な街づくりを実施され、現在では国内を代表する学術研究都市に成長されたことを、誇りに感じるところであります。

また、貴学術研究都市は、北九州市が工業都市として培った西日本最大級の産業技術の集積と、学術研究都市の研究開発機能とを結び付けることにより、次代を担う新たな産業の創出や、既存の地域産業の高度化に大きく貢献されてこられました。

さらに今後は、アジアに近いという地理的優位性、北九州市のアジア諸国に対する環境分野などにおける技術力の実績を活かし、アジアの中核的な学術研究拠点の形成を目指されることに大きな期待をしております。

九州経済産業局としましても、ひびきのLEDアプリケーション創出協議会事業やK-RIP環境エネルギー研究会事業など、貴学術研究都市との協同による事業を基点に、九州地域の活性化のための様々な取り組みを積極的に進めてまいりたいと存じます。

北九州学術研究都市の今後益々の御発展を祈念いたしますとともに、引き続き九州地域の活性化に御協力を賜りますようお願い申し上げます。



北九州商工会議所 会頭
利島 康司

北九州学術研究都市が開設10周年の節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

これもひとえに、関係各位の皆様の絶えまないご尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

これまで北九州はものづくり産業を中心に発展を遂げて参りましたが、長引く景気悪化や産業構造の変革など、幾度となく苦難を乗り越えて今日を迎えております。そのような状況の中、産業の知的基盤整備という大きな目的をもって「北九州学術研究都市」が整備されてから、早いもので10年が経ちました。

産業技術の高度化や新たな産業創出につながる研究開発が行えるよう充実した施設はもとより、産学官が一体となって周辺の自然環境や都市環境を生かした街づくりに取り組むなど、その先進的な活動は注目を集めております。

また、理工系の大学や研究機関、企業の研究部門が同一キャンパスに集積することで活発な交流を図るなど、魅力あふれる街づくりを実践されています。

現在では、その認知度も高く、全国から優秀な学生や社会人が集まり、地域経済の活性化に大きく貢献されています。地元経済界を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

結びに、北九州学術研究都市の今後ますますの発展を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



北九州学術研究都市記念碑には、(財)北九州産業学術推進機構初代理事長 有馬 朗人氏による書と学研都市の使命が刻まれている。



Randy Tzong-Ming Yen
Director General
Science Park Administration
Hsinchu Science Park, Taiwan, R. O. C.

台湾
新竹科学工業園區 管理局
局長 顏 宗明

I would first like to extend my sincere congratulations to the 10th Anniversary of the Kitakyushu Science and Research Park for its brilliant development. Happy Birthday!

The Kitakyushu Science and Research Park is renowned for its superior management teamwork and outstanding industry-academia collaboration, which acts as global model for science park development. As a tied sister park of the Kitakyushu Science and Research Park, we would like to share the pleasure of accomplishments of the Kitakyushu Science and Research Park over the years and thus would like to express our congratulations and acknowledgements.

Science park management requires much more effort amid global competition and regional economic integration as stepping into the 21st century of fast information technology development. Science parks have also turned into powerhouses for high-tech industry development of a country, in an eye to acquire an optimal benefit for domestic industries, government sectors, academia, and research organizations. Science parks in the Asia-pacific region are suggested to enhance cooperation and experience-sharing, via establishment of science park regional network and cooperation platform, taking the advantages of globalization niches of regional development, and in turn to foster the Asia-pacific region as global center and major market for information software and hardware development. The Kitakyushu Science and Research Park and the Hsinchu Science Park are pleasantly linked as sister parks under the mentioned promising niches, which is anticipated to create a wonderful future via joint collaboration.

Finally, I would like to bring my best wishes for the wonderful achievements and success of the 10th Anniversary Celebrations for the Kitakyushu Science and Research Park and my sincere wishes for good health and promising future for everyone.



Wen-Ke Yang
Director General
Central Taiwan Science Park Administration

台湾
中部科学工業園區 管理局
局長 楊 文科

On this special occasion of the 10th anniversary of Kitakyushu Science and Research Park, I sincerely congratulate on your achievement and effort leading the city of Kitakyushu as the first green city in Japan and continuously inspiring other regions over the world.

Central Taiwan Science Park is one of the new Science Parks in Taiwan inspired by Kitakyushu Science and Research Park. I first learned about the Kitakyushu Science and Research Park back in 2007 when my colleagues visited your Park and attended the Industry-Academia Cooperation Fair. They were so impressed by how the activities are taking place in your Park especially in the construction of ecosystem. Your Park came to me as a symbol of green frontier.

In later years, I finally got the chance to personally witness your Park, realized our mutual cooperation, and followed two other science parks in Taiwan to sign the exchange agreement with you in April, 2009. This event officially opened a wide window for CTSP to gain a closer connection with the science and research parks in Japan. Based on this exchange agreement, there has been pleasing interactions between CTSP and Kitakyushu Science and Research Park, including your visit last December, and CTSP's delegations to your Industry-Academia Cooperation Fair annually. These activities are strengthening our relationship and continuously allow us to learn from each other.

I am most honored to congratulate your 10-year success and wish you all the best for the next 10 years and more!



Chun-Wei Chen

Director-general
Southern Taiwan Science Park
Administration

台湾
南部科学工業園区 管理局
局長 **陳 俊偉**

On behalf of the Southern Taiwan Science Park Administration, I would like to extend my warm congratulations on your 10th anniversary.

Kitakyushu Science and Research Park (KSRP) and Southern Taiwan Science Park (STSP) signed Memorandum of Understanding to promote international exchanges in 2004 which signified our commitment and efforts to cement cooperative relations with each other and advance our high-tech industry development. I strongly believe after years of development we have crossed the borders of nations and been on our way to facilitate the establishment of Techno Asia.

KSRP is one of the core academic research centers in Asia and has accumulated many leading industrial technologies. Your organization has been playing an important role in gathering universities and research institutes, establishing a high-level educational and research environment for the promising youth as well as creating new industries and technologies for future generations. I can see an even bigger task for KSRP to lead the City of Kitakyushu into a sparkling technopolis in the world.

Please accept my hearty congratulations again on your 10th anniversary and wish all the celebration activities great success.



Yoo Dong-Guk

President of Gwangju TechnoPark

韓国
財団法人光州テクノパーク
院長 **柳 東局**

Congratulation! The 10th anniversary of Kitakyushu Science and Research Park(FAIS).

I am so glad to hear of giving me a chance to write a congratulatory message for the 10th anniversary of FAIS.

From the last December, I started to work as a president of Gwangju Technopark(GJTP).

Two month later, I visited Kitakyushu and signed MOU with the FAIS. This is the first international agreement for me as a representative of GJTP.

I still appreciate your warm reception and kindness during the visiting of the delegate of Gwangju metropolitan city, including the mayor and me.

I believe that the east Asia will lead the fields of economy, technology and academy in the world. FAIS has given the great contribution. We will also strongly cooperate for the progress of science, technology and industry in the east Asia through our friendship between FAIS and GJTP.

Finally, I would like to say again, congratulation.